

【がん種】 子宮頸癌
【レジメン名】 CDDP+PTX+Bmab
【登録番号】 252105
【1コースの期間】 3週間
【総コース数】 進行・再発:PDまで
【催吐性リスク】 高度:シスプラチン、軽度:パクリタキセル、最小度:アバステン
【抗がん剤の組織障害性】 ビシカント(起壊死性):パクリタキセル、イリタント(炎症性):シスプラチン、ノンビシカント(非壊死性):アバステン
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 編集中
【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 N Engl J Med 370:734-743, 2014. Lancet Oncol 16:301-311, 2015. Jpn J Clin Oncol 47:39-46, 2017.
【点滴の時間】 [day1~]94時間
【費用】 編集中
【その他】 対象患者:アルコール不耐性ではない、大きな手術後から28日以上経過している、2.5mL以上の鮮血の喀血がない。

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日							
					1	2	3	4	5	...	21	
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○	○						
2	レスタミン錠 10mg	5 錠/回	内服	1日1回 パクリタキセル投与30分前	○							
3	生理食塩液 50mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL ファモチジン注射用 20mg	1 B 3 V 1 A	側管	全開 開始時にレスタミン内服	○							
4	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○							
5	生理食塩液 250mL パクリタキセル注「NK」	1 B 67.5 mg/m2	側管	12時間 フィルター使用(DEHPフリー)	○							
6	生理食塩液 250mL パクリタキセル注「NK」	1 B 67.5 mg/m2	側管	12時間 フィルター使用(DEHPフリー)	○							
7	ソルデム3A 500mL 硫酸Mg補正液 20mEq/20mL 6のパクリタキセルと一緒に投与	1 B 0.4 A	側管	90分 AM8:30~		○						
8	ソルデム1 500mL 6のパクリタキセルと一緒に投与	1 B	側管	90分		○						
9	生理食塩液 250mL フロイメド点滴静注用 150mg	1 B 1 V	側管	30分		○						
10	生理食塩液 100mL アロキン静注 0.75mg デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V 2 A 1 V	側管	30分		○						
11	生理食塩液 100mL アバステン点滴静注用 初回90分、2回目1時間、3回目~30分	1 B 15 mg/kg	側管			○						
12	生理食塩液 100mL	1 B	側管	15分		○						
13	生理食塩液 100mL ラシックス注 20mg/2mL	1 V 1 A	側管	15分		○						
14	生理食塩液 250mL シスプラチン点滴静注「マルコ」	1 B 50 mg/m2	側管	90分 遮光		○						
15	ソルデム3A 500mL	1 B	メイン	90分		○						
16	ラクテック注 500mL	1 B	メイン	9時間 残破棄		○						
17	ソルデム3A 500mL	1 B	メイン	8時間 AM0:00~			○	○	○			
18	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V	側管	30分 AM6:00~			○					
19	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 2 V	側管	30分 AM6:00~				○	○			
20	ソルデム3A 500mL	1 B	メイン	8時間			○	○				
21	ラクテック注 500mL	1 B	メイン	8時間			○	○				